

デジタル田園都市国家構想総合戦略(2023改訂版)

(2023年度～2027年度)

2023年12月26日

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

総合戦略(2027年度までの5か年計画)の基本的考え方

- 「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。
- デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、各地域の優良事例の横展開を加速化する。
- これまでの地方創生の取組についても、改善を加えながら推進する。

施策の方向

地方の社会課題解決

- ① 地方に仕事をつくる
 - ・ 中小・中堅企業DX、地域の良質な雇用の創出等、スマート農業、観光DX等
- ② 人の流れをつくる
 - ・ 移住の推進、関係人口の創出・拡大、地方大学・高校の魅力向上等
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ・ 結婚・出産・子育ての支援、少子化対策の推進等
- ④ 魅力的な地域をつくる
 - ・ 地域生活圏、教育DX、医療・介護DX、地域交通・物流・インフラDX、防災DX等

国によるデジタル実装の基礎条件整備

- ① デジタル基盤の整備
 - ・ デジタルインフラの整備、デジタルライフライン全国総合整備計画、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大等
- ② デジタル人材の育成・確保
 - ・ デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成等
- ③ 誰一人取り残されないための取組
 - ・ デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現等

政策間連携・施策間連携・地域間連携の推進

(政策間連携)

- ・ デジタル行財政改革会議における議論の進展や、「デジタル行財政改革中間とりまとめ」なども踏まえつつ、規制改革を始めとする政策と連携しながら、一体的に推進等

(施策間連携)

- ・ 各省による重点支援や地方支分部局の活用等による伴走型支援等を通じて、地域が目指す将来像の実現を支援等

(地域間連携)

- ・ 自治体間連携の枠組みにおけるデジタル活用の取組を促進等

デジタル行財政改革関連

(デジタル田園都市国家構想交付金)

- ・ 将来的に国や地方の統一的・標準的なデジタル基盤への横展開につながる見込みのある先行モデル的な実装を支援

(教育DX)

- ・ デジタル教材等が連携する仕組みの構築などのデータ分析・利活用ができる環境整備、校務DX等を推進
- ・ GIGAスクール構想の第2期を見据え、予備機を含む1人1台端末を計画的に更新

(行政サービス分野のデジタル実装の展開)

- ・ 「書かないワンストップ窓口」の全都道府県下の市町村への展開を含めた、業務改革を前提とした「フロントヤード」改革を推進
- ・ 国地方共通相談チャットボットの2023年度内の提供開始、その後のシナリオの精度の向上、対象分野の拡大を推進

(地域交通)

- ・ タクシー・バスのドライバーの確保、不便の解消に向けた地域の自家用車・ドライバーの活用の検討を推進

(ドローンの利活用)

- ・ レベル1・2（目視内飛行）に係る無人航空機の飛行に関する許可・承認申請手続を短期化
- ・ レベル3飛行（無人地帯における目視外飛行）について、一定の要件の下、従来の立入管理措置を撤廃するレベル3.5飛行制度を創設

当面の重点検討課題（令和5年6月16日デジタル田園都市国家構想実現会議決定）関連

(デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成（国土形成計画）)

- ・ デジタル徹底活用と「共」の視点からの地域経営で、日常の生活サービスが持続可能となる「地域生活圏」の形成を推進

(物流DX)

- ・ 自動運転、ドローン物流、バース予約システム、求貨求車マッチングや自動倉庫、AIターミナル、サイバーポート等、効率化を推進

(地域の公共交通のリ・デザイン)

- ・ MaaSやAIオンデマンド交通、モビリティ人材育成、自動運転の実装、ローカル鉄道の再構築、地域の実情に応じた幹線鉄道ネットワークの高機能化・サービス向上に係る取組を支援

(デジタルライフライン全国総合整備計画)

- ・ デジタルライフライン全国総合整備計画を2023年度内に策定し、官民による重複を排除した集中的な投資を実施
- ・ 2024年度からデジタル情報配信道やドローン航路の設定、インフラ管理のデジタル化を先行地域で推進

地方版総合戦略の改訂について



デジタル田園都市国家構想

DIGIDEN

令和5年1月

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

デジタル田園都市国家構想総合戦略（抄） （令和4年12月23日閣議決定）

第1章 デジタル田園都市国家構想の実現のために

～「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指して～

（地方と国の役割分担と施策間・地域間連携の強化）

地域においては、それぞれが抱える社会課題について、地方公共団体を中心として十分に議論、認識した上で、その解決を図っていくため、自らの地域ビジョン（地域が目指すべき理想像）を描き、デジタル技術を活用しつつ、①地方に仕事をつくる、②人の流れをつくる、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④魅力的な地域をつくるという4つの取組を進めていくことが求められる。このため、**地方公共団体は総合戦略を勘案し、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略及び市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、これらを合わせて「地方版総合戦略」という。）を改訂するよう努め、具体的な地方活性化の取組を果敢に推進するものとする。**その際には、社会課題の解決を効果的・効率的に推進するため、地域経済分析システム（以下「RESAS」という。）、地域経済循環分析等の地域経済に関するデータを活用し、エビデンスに基づいた政策を企画立案（EBPM）するほか、共通する社会課題を抱える地域においては、デジタルの力も活用しながら、地方公共団体の枠組みを越えた地域間の連携を推進していくことが重要である。

「デジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案した地方版総合戦略の策定・改訂について」（令和4年12月23日付け通知）

本日、2023年度を初年度とする5か年の新たな「デジタル田園都市国家構想総合戦略」（以下「総合戦略」という。）が閣議決定されました。

国においては、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」（以下「本構想」という。）の実現に向け、デジタルの力を活用しつつ、地域の個性を生かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化することとしており、今般、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、新たな総合戦略を策定したものです。

総合戦略は、本年6月に閣議決定された「デジタル田園都市国家構想基本方針」で定めた取組の方向性に沿って、本構想が目指すべき中長期的な方向や本構想の実現に必要な施策の内容、ロードマップ等を示すものです。

地方においては、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第9条及び第10条に基づき、国の総合戦略を勘案し、都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略及び市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「地方版総合戦略」という。）を策定するよう努めなければならないこととされています。

つきましては、国の総合戦略を勘案し、各地方公共団体において、本構想の実現に向け、地方版総合戦略の策定・改訂に努めていただくようお願いいたします。その際、別途提供する「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き（令和4年12月版）」に留意すべき事項を記載していますので、参考にさせていただくようお願いいたします。

また、貴都道府県内の市区町村長並びに一部事務組合の管理者及び広域連合の長に対してもこの旨周知願います。

なお、本通知は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第245条の4（技術的な助言）に基づくものです。

「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き」の改訂等について

- デジタル田園都市国家構想総合戦略の閣議決定を踏まえ、「**デジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案した地方版総合戦略の策定・改訂について(通知)**」を発出し、併せて、「**地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き**」を改訂。
- まち・ひと・しごと創生法において、国の総合戦略を勘案するよう努める必要があるとされていることから、**早期の策定・改訂に努めていただくようお願いしたい**(手引きP22参照)。

※「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き(令和4年12月版)」については、以下のホームページに掲載しています。
<https://www.chisou.go.jp/sousei/about/chihouban/>

見直しの主な内容

デジタル田園都市国家構想総合戦略により、デジタルの力を活用し地方の社会課題解決や魅力向上の取組の加速化・深化を図る観点から、地方版総合戦略の手引きについて、以下の見直しを行う。

- ① 施策間連携・地域間連携の重要性についての記載を追加 (1-4)
- ② デジタル関連の外部有識者の参画に係る例示等を追加 (2-2)
- ③ デジタル担当部局との連携の重要性についての記載を追加 (2-3)
- ④ 地方版総合戦略の名称の例示等を追加 (3-1、3-2)
- ⑤ これまでの地方創生の取組との関係に関する説明を追加 (3-5)
- ⑥ 地域ビジョンに関する記載を追加 (3-6)
- ⑦ デジタル技術を活用した特徴的事例(例示)を追加
(1-1、1-2、1-3、1-4、4-1、4-2)

見直しの主な内容①

① 施策間連携・地域間連携の重要性についての記載を追加 (P 4, 5)

- ◇ 国の総合戦略において、地域ビジョン実現のために施策間連携・地域間連携が重要である旨が記載されていることから、地方版総合戦略においても、既存の「地域間連携の重要性」の項目に、「施策間連携の重要性」を追加。
- ◇ 地域間連携についても、連携中枢都市圏・定住自立圏における取組内容を深化させることが重要であること、デジタルの力を活用した、地理的な連坦性に捉われない地域間連携も可能であることなどを追記し、記載内容を充実。
- ◇ また、施策間連携と地域間連携を同時に進めることで施策効果が高まる旨も記載。

② デジタル関連の外部有識者の参画に係る例示等を追加 (P 6, 7)

- ◇ 地方版総合戦略の策定・改訂のプロセスにおいては、産官学金労言士など多様な関係者で構成する推進組織で検討することが重要であるところ、デジタル関連の施策を実効的なものとするため、推進組織にはデジタル分野に精通する団体・有識者等の参画を求めることが重要である旨を追記するとともに、デジタル分野の団体・有識者の例示を追記。

<例示>

- ・大学や高等専門学校等の高等教育機関
- ・情報通信技術や先端技術を専門とする企業、団体
- ・DX推進のために地方公共団体等が委嘱したアドバイザー

③ デジタル担当部局との連携の重要性についての記載を追加 (P 7)

- ◇ 地方版総合戦略の策定・改訂等に当たり、地方創生担当部局に加え、デジタル担当部局の協力も必要となることから、「庁内における推進体制」の項目に、地方創生担当部局やデジタル担当部局をはじめとした庁内の各部局が連携して総合的に対応するよう追記。

見直しの主な内容②

④ 地方版総合戦略の名称の例示等を追加 (P 8)

◇ 国の総合戦略の名称が変わることから、新たに「地方版総合戦略の名称」という項目を設ける。名称については、地域の实情に応じて設定することが適切であるが、例えば以下のような名称が考えられる旨を追記。

<例示>

- ・〇〇市デジタル田園都市国家構想総合戦略
- ・〇〇市デジタル田園都市構想総合戦略
- ・〇〇市デジタル田園都市国家構想の実現に向けたまち・ひと・しごと創生総合戦略

◇ また、国の総合戦略の期間も変わるため、新たに「地方版総合戦略の期間」という項目を設け、地方版総合戦略の期間は、国の総合戦略の期間(R5～R9)を勘案したうえで設定に努めるよう記載。
(ただし、地域の实情に応じた期間を設定することも差し支えない旨も記載。)

⑤ これまでの地方創生の取組との関係に関する説明を追加 (P 10)

◇ 新たに「これまでの地方創生の取組との関係」という項目を設け、国の総合戦略に倣い、これまでの様々な地域の社会課題解決・魅力向上に向けた取組を今後はデジタルの力を活用して継承・発展させていくことが肝要である旨を記載。

⑥ 地域ビジョンに関する記載を追加 (P 10～12)

◇ 新たに「地域ビジョンの再構築」という項目を設け、
・国においては、デジタル田園都市国家構想の実現に向けた取組を円滑に進めるため、まち・ひと・しごと創生法に基づく枠組みを有効に活用することとしている
・地域においても、社会課題解決を図るために自らの地域ビジョン(地域が目指すべき理想像)を再構築したうえで地方版総合戦略を改訂し、具体の取組を推進することが重要である
旨を記載。併せて、参考として国の総合戦略で示したモデル地域ビジョンと重要施策分野の例についても記載。

⑦ デジタル技術を活用した特徴的事例(例示)を追加

◇ 手引きの以下の各項目に記載している特徴的事例(例示)に、デジタル技術を活用したものを追加。

- ・都道府県の役割の例(P2)
- ・市町村間連携の特徴的事例(P3)
- ・地域間連携の特徴的事例(連携中枢都市圏)(P5)
- ・施策における重要業績評価指標(KPI)の例(P16)
- ・地方版総合戦略の骨格の具体例(P17)
- ・市町村の役割の例と特徴的事例(P2、3)
- ・都道府県と市町村との連携の特徴的事例(P4)
- ・数値目標の例(P14)

お知らせ

○地方版総合戦略改訂総合相談窓口

地方版総合戦略の策定、改訂に関する相談窓口を設置しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、テレワークを積極的に実施しているため、問い合わせは、可能な限りメールで行っていただきますようお願いいたします。

【メール】g.osei-hotline@cas.go.jp

【電話】03-6257-1421(内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局内)



第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略 (概要)

令和6年3月策定
神奈川県

「第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」(2024~2027年度)の全体像

人口ビジョン

克服すべき
2つの課題

人口減少に歯止め
をかける

超高齢社会を乗り
越える

3つのビジョン
の実現

合計特殊出生率の
向上(自然増に向
けた対策)

「マグネット力」
の向上(社会増に
向けた対策)

「未病」の取組に
よる健康長寿社会
の実現(超高齢社
会への対応)

基本目標

基本目標1

神奈川の成長力を生
かして魅力的なしご
とを産み出し、一人
ひとりが生き生きと
働ける社会を創る

施策の基本的方向(中柱)

(1)成長産業の創出・育成、
産業の集積

(2)産業の活性化

(3)就業の促進と人材育成

▶実質県内総生産(第2次産業及び第3次産業)

▶黒字企業の割合

▶完全失業率《暦年》

▶1人当たり月所定外労働時間《暦年》

基本目標2

国内外から神奈川へ
の新しいひとの流れ
をつくる

(1)観光の振興

(2)地域資源を活用した魅
力づくり

(3)移住・定住の促進

▶観光消費額総額《暦年》

▶県西地域の社会増減数(2024年~2027年の累
計)《暦年》

▶三浦半島地域の社会増減数(基準年(2023年)に對
する増減数)《暦年》

▶人口が転入超過の市町村数《暦年》

基本目標3

若い世代の結婚・出
産・子育ての希望を
かなえ、神奈川の未
来を担う子どもたち
を育てる

(1)結婚・出産の支援

(2)育児の支援

(3)柔軟で自立した人材の
育成

▶希望出生率の実現《暦年》

▶「安心して子どもを産み育てられる環境が整っ
ていること」に関する満足度(県民ニーズ調査)

▶「自分はこうなりたい、こうしたい」という夢や
希望を持たたと思う生徒の割合(県立学校)

▶将来の夢や目標を持っている児童の割合(公立小
学校)・生徒の割合(公立中学校)

基本目標4

活力と魅力あふれる
持続可能なまちづく
り・誰もが活躍でき
る地域社会づくりを
進める

(1)いつまでも活躍できる
まちづくり

(2)誰もが活躍できるまち
づくり

(3)持続可能な魅力あるま
ちづくり

▶平均自立期間《暦年》

▶「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」という考え方
について「そう思わない」人の割合(県民ニーズ調査)

▶「障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当
たり前だ」という考え方について「そう思う」人の割合
(県民ニーズ調査)

▶「外国人と日本人が国籍、民族、文化の違いを理解し、
認め合ってもにくらすこと」を重要だと思う人の割合
(県民ニーズ調査)

▶県内の温室効果ガス排出量の削減割合(2013年度比)
▶「通勤・通学・買物など日常生活のための交通の便が良
いこと」に関する満足度(県民ニーズ調査)

数値目標

地域ビジョン (県がめざす理想像)

誰もが安心して
くらす やさ
しい神奈川

誰もが自らの力
を發揮して活躍
できる神奈川

変化に対応し
持続的に発展す
る神奈川

実現のための具体的な取組

地域ビジョンを実現

■基本目標 1

神奈川の成長力を生かして魅力的なしごとを産み出し、一人ひとりが生き生きと働ける社会を創る

【基本目標のねらい】

神奈川の成長力を生かした神奈川らしい成長産業の創出などに取り組むことにより、県内に魅力的なしごとの場をつくり、安定した雇用を生み出し、多様な人材が活躍して、多様で柔軟な働き方で一人ひとりが生き生きと働くことができる社会の実現をめざします。

【基本目標の実現に向けて取り組む施策】

施策の基本的方向(中柱)

小柱

小柱には「主な取組」や「KPI」を位置付けており、具体的な取組を進めていきます。

(1)成長産業の創出・育成、産業の集積

特区制度などを活用し、成長産業の集積やイノベーションの創出を図ります。

①未病産業、最先端医療関連産業の創出・育成

②ロボット産業の創出・育成

③ベンチャー企業の創出・育成、産業集積の促進

(2)産業の活性化

中小企業の経営基盤強化による産業の活性化を図るとともに、地産地消の推進による持続可能な農林水産業の実現をめざします。

①県内中小企業・小規模企業の活性化

②農林水産業の活性化

(3)就業の促進と人材育成

産業を支える人材を確保・育成していくとともに、女性や障がい者、外国人など多様な人材が活躍や、多様な働き方の推進を図ります。

①多様な人材の就業・活躍支援

②産業を支える人材育成

③多様な働き方ができる環境づくり

■基本目標2

国内外から神奈川への新しいひとの流れをつくる

【基本目標のねらい】

神奈川のマグネット力を高め、観光の振興、地域資源を活用したプロジェクトを推進することで、ひとの流れをつくり、賑わいを創出します。また、将来の移住につながるよう、各地域のマグネット力を高め、地域活性化を図り、人を呼び込み、地域に住む人と人のつながりを創出し、定住人口の増加を図ります。

【基本目標の実現に向けて取り組む施策】

施策の基本的方向(中柱)

小柱

(1)観光の振興

国内外の観光客の県内への来訪を促進し、持続可能で発展的な観光振興を進めます。

①観光資源の活用や観光客の受入環境整備

②国内外への戦略的プロモーション

(2)地域資源を活用した魅力づくり

地域の特性や資源を最大限に活用したプロジェクトの推進など、地域の魅力に磨きをかけて人を呼び込むことで地域の活性化を図ります。

①県西地域活性化プロジェクトの推進

②三浦半島魅力最大化プロジェクトの推進

③かながわシープロジェクトの推進

④マグカルによる地域の魅力づくり

⑤水源地域の活性化

(3)移住・定住の促進

観光や地域活性化の取組により生まれたひとの流れをとらえ人を呼び込み、地域に住む人と人とのつながりを創出し、移住・定住の促進を図ります。

①移住の促進

②定住しやすい環境づくり

■基本目標3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、神奈川の未来を担う子どもたちを育てる

【基本目標のねらい】

「子どもを生むなら神奈川 子育てするなら神奈川」の実現をめざし、結婚から育児までの切れ目ない支援や困難を抱える家庭・子どもへの支援などを通じて、安心して結婚、出産、子育てができる環境を整えるとともに、妊娠・出産などに関する知識の普及やライフキャリア教育を進め、若い世代の希望の実現を図ります。また、神奈川の未来を担う子どもたちが変化の激しい社会に適応していけるよう、柔軟で自立した人材の育成を進めます。

【基本目標の実現に向けて取り組む施策】

施策の基本的方向(中柱)

小柱

(1)結婚・出産の支援

若い世代の経済的基盤の安定や結婚の希望をかなえる環境づくり、妊娠・出産を支える社会環境整備に向けた取組を進めます。

①若い世代の経済的安定と結婚の希望をかなえる環境づくり

②妊娠・出産を支える社会環境の整備

(2)育児の支援

安心して子どもを生み育てることができる社会に向けて、社会全体で子育てを応援し、困難を抱える家庭・子どもを支える環境を整えていきます。

①子育てを支える社会の実現

②困難を抱える家庭への支援

③困難を抱える子どもへの支援

(3)柔軟で自立した人材の育成

子どもたちの思いやる力や自立して生き抜く力、社会に貢献する力を育成するとともに、すべての児童・生徒が安心して快適に学べる環境づくりを進めます。

①将来を支える人材の育成

②共生社会の実現に向けた人材の育成

③教育環境の整備

■基本目標4

活力と魅力あふれる持続可能なまちづくり・誰もが活躍できる地域社会づくりを進める

【基本目標のねらい】

既に超高齢社会が到来している中で、未病改善をはじめとした健康長寿の取組により元気に、高齢者が取り残されることなく安心して暮らし、文化芸術活動やスポーツに親しみ心豊かに生き生きとくらすことでいつまでも活躍できるまちづくりを進め、超高齢社会を乗り越える社会システムを創っていきます。また、人口減少局面においても、女性、高齢者、障がい者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、自らの力を発揮して活躍できる地域社会づくりを図ります。さらに、脱炭素社会の実現や、安全で安心なまちづくり、都市機能の集約化などの観点に立った持続可能な魅力あるまちづくりを進めるなど、活力と魅力あふれるまちづくりの実現をめざします。

【基本目標の実現に向けて取り組む施策】

施策の基本的方向(中柱)

小柱

(1)いつまでも活躍できるまちづくり

未病改善などによる健康長寿に向けた取組、高齢者が生き生きとくらすまちづくり、教養・文化・スポーツに親しむ社会づくりを通じて、生涯にわたって活躍できるまちづくりを進めます。

①健康長寿のまちづくり

②高齢者が生き生きとくらすまちづくり

③教養・文化に親しむ環境づくり

④スポーツに親しむまちづくり

(2)誰もが活躍できるまちづくり

悩みを抱える方への寄り添いや、年齢、障がい、性別、国籍に関わらず、互いに支え合い、誰もが居場所と役割をもって活躍できる地域社会づくりを進めます。

①悩みを抱える方へ寄り添うまちづくり

②ジェンダー平等で多様な人が活躍できるまちづくり

③障がい者が活躍できるまちづくり

④外国人が活躍できるまちづくり

(3)持続可能な魅力あるまちづくり

脱炭素社会の実現に向けた取組や安心・安全なまちづくり、都市基盤の整備などを進め、将来へ向けた持続可能なまちづくりを進めます。

①脱炭素社会の実現

②安心してくらすまちづくり

③交通ネットワークの充実と魅力あふれるまちづくり